

長岡京市井ノ内の向日が丘支援学校で5日、在宅勤務の体験実習があった。身体的な不自由のある生徒たちが、無縁回線につながったタブレット端末やパソコンを使って会議やゲームに参加し、離れた場所にいる人たちとコミュニケーションをとる技術を学んだ。

## 長岡京で在宅勤務実習



無縁回線につながったタブレット端末を通じて離れた人たちとやりとりを行う小林さん(長岡京市井ノ内・向日が丘支援学校)

## コミュニケーション学ぶ

向日が、生徒たちにさまざまな疑問のかたちを知ってもらおうと、在宅勤務を体験化している。工作業のスキルを身に付けて実践し、業務部門の2人が参加した。

生徒たちは、テレビ会議システムを使って、校内で在宅勤務している同社の社員と互いに自己紹介し合ったり、仕事のやりがいを聞いた。また、同社の社員から贈られた問題について、生徒同士で話し合っただけでなく、同システムを使って練習する「Fortnite」オンラインゲームも楽しんだ。

参加した3年生小林樹樹さん(17)は「テレビ会議は最初は緊張したけれど、いざ始めると意外と話しやすかった。このように仕事のやり方もあると工夫の余地があるのかなと思った」と楽しんでいた。同社は「在宅勤務」の口癖が聞かれる。

(取材協力)

# 支援学校生、TV会議体験



6月6日  
木曜日



発行所 〒604-8077  
京都府中京区入道堀川上ル